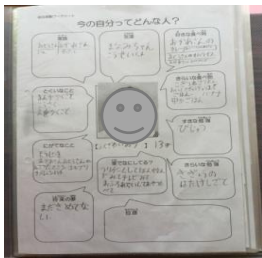
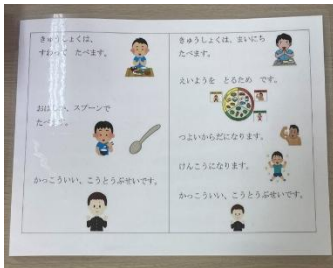


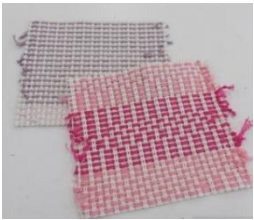
教材・教具の紹介（自作）

1 健康の保持

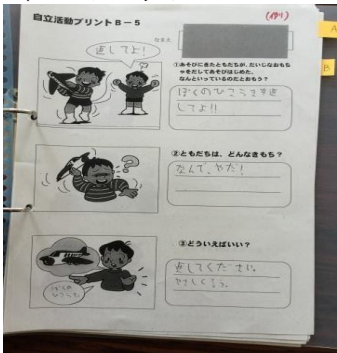
名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
万歩計 	卒業後の就労に向けての体力作り。	本人は、学校生活はもちろん休日も散歩を気にするようになり、ウォーキングに取り組むことができました。

2 心理的な安定

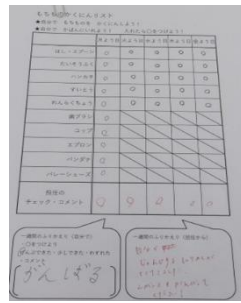
名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
「今の自分って？」 	今の自分について項目ごとに整理し、客観的に自分を知ることができます。	いつでもふり返ることができるようにします。一年後もう一度行い変化を比べてみてもおもしろいと思います！
給食確認表 	給食を食べることに抵抗があるので、本人が気になっていることを視覚化し、わかるようにしました。	本人の質問に対する説明を、わかりやすく視覚化しました。このシートがあると、落ち着いて座れるようになりました。
振り返りファイル 	- 視覚的に自分の頑張りを認め、自信が持てます。 - 苦手な活動にも意欲的に取り組みます。	- 振り返りの祭に花丸をもらったりスタンプを押したりすることが苦手な活動へのモチベーションになっていきます。記録が溜まっていくため過去の頑張りの振り返りができます。 - 自分で頑張ったと思えた時に「はなまるやな」と伝えてくれるようになりました。苦手な活動に生徒の方から誘ってくれることが増えました。

コースター 	・達成感を味わい自信を持つ。	・自分で考えて好きな色を使ってできます。 ・30～60 分くらいの短時間でできます。 ・制作した後に使用することができます。
--	--	--

3 人間関係の形成

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
やさしくタッチ！カード 	・自分が日頃どのような行動をしているのかを知り、その行動についてこのカードを見ながら振り返ったり、適切な関わりができるように促すことができます。	・教師集団でこのカードを活用することで、担任以外でも対象の児童生徒に対して「優しく、心地よい」関わりをわかりやすく、また統一して伝えることができます。
ソーシャルスキルトレーニング (SST) 絵カード（連続絵カード）のワークシート 	・絵に描かれた状況や人物の感情、言葉のやりとり等について学習をした後で、ワークシートに自分の考えをまとめます。	・文字で書くことで、学習した内容や自分の気持ちを整理しまとめができます。自分と友達との類似点や相違点を、言葉のみよりも文字で書いてあることで気づきやすいことがあります。教師は子どもの理解度や考え方の特徴を把握する手立てになります。
色々な気持ちと その感情に合った状況絵 	・表情や感情の理解を深めることができます。	・①表情絵カードの神経衰弱(表情に注目し、感情の言葉と一緒に覚えま)②表情絵カードと教師の表情写真のマッチング(人の表情に注目し理解を深めます)③表情絵カードと状況絵カードのマッチング(場面と感情を照らし合わせ考えていきます)④教師によるロールプレイングを見る(状況絵で理解しにくい場面を動画で見ることでより理解しやすくなります)

持ち物確認リスト

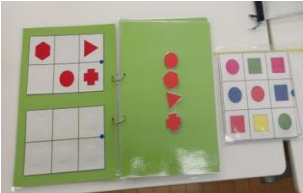


- ・学校の準備が自分でできます。
- ・できたことを自分で評価できます。

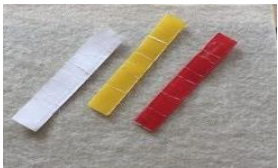
- ・頑張ったことが自分でもわかるように記録として残していけます。

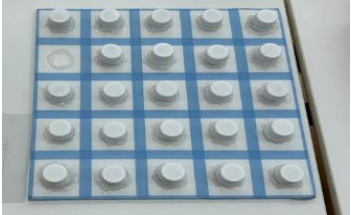
4 環境の把握

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
スクーターボード 	・前庭覚、固有覚、触覚、視覚への刺激が与えられます。加速刺激も入力できます。身体像の形成も促します。	・手足を使って自ら進んだり、フラフープを持たせて引っ張ったり、回転させたりして活動を楽しみます。
ミニハードル 	・基本的な運動企画力(足を上げる、またぐ、跳ぶ)を育みます。	・教室内で気軽に取り組め、低めの高さ設定と倒れてもすぐに直せる作りになっているため、失敗感や恐怖感を感じにくいです。 ・足を上げる→またぐ→跳ぶといった個々の課題にそって取り組むことができます。
どっちかな？ 	・記銘、記憶、想起、推測の一連の行動を通して、視覚認知や視機能を高めることができます。	・注視や追視といった視機能の力をつけることができ、見えない物を推測し、考える力をつけることができます。 ・見比べる、見分けるといった力をつけることができます。
図と地の弁別課題 	・細部視知覚、視知覚弁別力をつけます。	・環境の把握の(5)認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関すること。 ・「○○はどれ？」とやりとりしながら取り組んでいます。教師の指示に対応する。 ・簡単なものから複雑なものまで段階を進めることができます。 ・物を弁別する力をつけ認知面の向上へ繋がります。

テーブル琴 	・音との因果関係を理解することができます。	・鈴がついているので音がわかりやすいです。
よくみてマッチング 	・細部視知覚力の向上。 ・同じ物でも大きさの違う物の弁別ができます。 ・微妙に形、色が違う物の弁別ができます。	・環境の把握の(5)認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関すること。 ・視知覚力をつけることで写真カードの理解にも繋がります。
3 点位置把握 	・キャラクターのカードを使い、位置関係を整理する力を高めます。	・自立活動学習内容要素表の P68～69 の内容です。 ・斜めの位置関係の理解に繋がるのではないかと思います。 ・好きなキャラクターだとやる気アップ！ ・斜めの関係(時計の文字盤等)の理解に繋がれば良いと思います。
探したそうアンパンマンと仲間たち 	・図形の違いに気づいて同じ図柄を探し出すことができます。	・教材の材料が手に入りやすく、作り方も簡単なので児童生徒の興味関心に応じて、図柄を変えることができます。 ・注視することや注意の持続時間が高まること、生活における分類の基礎となることを期待しています。
3 色 色わけカード 	・「あか」「きいろ」「あお」と発声した後に、同じ色に分けることができます。	・カード取りしやすいように厚みを出すようにしました。 ・最初は2色から始めて最終は 3 色の色分けを目指します。
色や絵カードの配置構成 	・二次元の構成の発展として同じ色やイラストを同じ配置に構成することをねらった教材です。 ・虫食いの状態で提示し、短期記憶に働きかける教材としても活用できます。	・視覚的な短期記憶を鍛えることで日常生活における空間の捉え方がしやすくなればと考えています。(探し物をしたり、簡単な地図を見て理解できたり等)

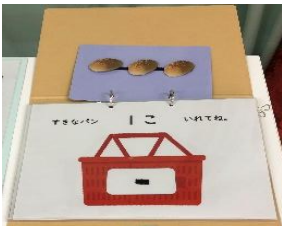
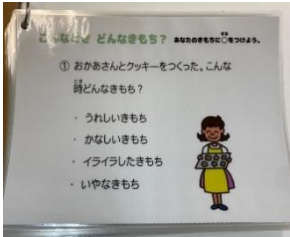
5 身体の動き

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
ひっぱりおもちゃ 	・目と手の協応を促します。 ・手指の巧緻性を高めます。	・引っ張ります。引っ張る感触がおもしろく、終わりがわかって見通しが持てるようになります。
はがしてスッキリ 	・目と手の協応を促します。 ・手指の巧緻性を高めます。	・少し強めのマジックテープをビリッ！とめくる感覚が味わえます。
ひも通し 	・手指の操作性を高めます。 ・集中力も高めることができます。	・色々な形や色があるので楽しく取り組みます。
靴紐トレーニング 	・手指の巧緻性の向上や靴紐を結ぶ手順を理解、反復するのに有効です。	・紐は付け替え可能となっているため児童生徒に合わせた難易度調整ができます。蝶々結びの練習と靴に紐を通す練習ができます。
フタとめはずし 	・手指の操作性を高めます。 ・集中力を高めることができます。	・物をひねったり回したりする力がつきます。
クリップとめはずし 	・手指の操作性を高めます。 ・集中力を高めることができます。	・クリップの種類は子どもによって変えることができます。クリップをはさむ厚紙に模様や、はさむ型を書いておけばより意欲的に取り組みます。
牛乳パック椅子 	・座位のための補助具を使い自分で座れます。 (腰ベルトを装着し、座面や腰、背中等必要に応じてクッションを使用)	・製作費用はタダです。子どもの身体に合わせて作ることも簡単です。

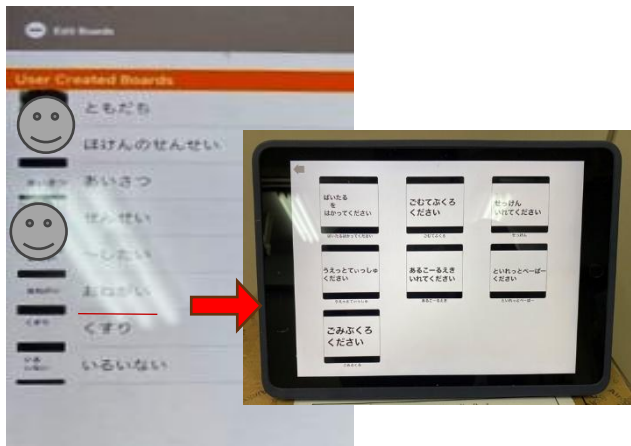
ボタン留め外し 	・手指の巧緻性を高めることができます。	・ボタンが大小になっていたり、ボタン穴が縦横になっていたりするのでいろんな場面を想定することができ、日常生活動作の練習にもなります。
ワッシャー入れ 	・手指の巧緻性を高めることができます。	・目と手の協応動作を高めることもできます。
絵本の中の登場人物(フェルト人形) 	・目と手の協応動作の力を高めることができます。	・触りやすい素材で意欲的に触ろうとします。 ・柔らかい素材に触れることで心理的な安定にもつなげられます。
箸つかみ 	・手先の動きの向上と箸の練習もできます。	・対戦形式にしても盛り上がります。また、指さすと数詞がずれて数を数えることが苦手な生徒もゆっくり具体物を操作しながら丁寧に数を数えることができました。
くるくるかたつむり 	・目の前にあるものをしっかり見て課題に取り組むことが難しく、また手先を細かく動かし微調整することに課題のある生徒に対して目と手の協応や動きの調整をねらっています。	・スタートとゴールの位置がわかりやすくなっています。 ・友だちと向かい合って持ち、協力してゴールを目指すこともできます。
南京錠開け 	・手元をよく見て開けることができないため、それを取り出したいという気持ちで意欲的に取り組むことを目指します。	・自立活動に意欲的に取り組めるようビーズのキーホルダーや手紙を書くためのボールペンの組み立て、便箋のシール貼り、封筒折り等好きな先生へのプレゼントに必要なものをそろえていく手順にしました。
ペットボトルの蓋開け閉め 	・手指の力をつけることを目指します。	・たくさんあつて十分取り組みます。 ・壊れてもすぐに直すことができます。

バレーボールアタック 	・目と手の協応動作。 ・腕の可動域を拡げる。	・ボールを追視する力をつけたり、関節の可動域を拡げることで、姿勢の改善や体幹を強化できます。
ペットボトルキャップで絵合わせ 	・目と手の協応。 ・手指の巧緻性。	・児童生徒の好きなキャラクター等のシールを使った絵合わせ。 ・作業において集中力がつく。 ・仕分けの片付けの基本が身につく。
ポットンおとし 	・目と手の協応動作。 ・ものをつまんだり、穴に入れたり、ペットボトルの蓋を開けたり、ファスナーを開けたりする活動を通して手指の巧緻性向上。 ・集中力をつける。	・目をつけたので可愛くなり、児童生徒のやる気が上がりました。ファスナーを開けることで中の物が一気に取り出せます。縄跳びの紐の色が綺麗で柔らかいのでよく見て入れないと穴に入れにくいのです。ペットボトルの蓋を二重にして高さを出したので握りやすいです。物を左手で持つ練習のため、底に丸みをつけて自立できないようにしています。 ・気が散りやすいので手元をよく見て一人で行えることが増えました。食器を左手で持てるように習慣付ける効果も期待します。
自動販売機 	・肢体不自由児生が引っ張ると言う動きでジュースを取り出す活動ができます。ジュースを買うという生活場面に興味関心を持つことを期待しています。	・自分のできる操作でジュースを取り出せるような教材を考えました。ボタンを押すことが難しい児童生徒に、目立つ色の柔らかい紐を引っ張ることでジュースを取り出せるように考えました。 ・キャリアの教育の「役割」「買い物」の視点からの学習を考えました。「役割」では、お使いを頼まれるというお手伝い、「買い物」では、お金を入れるとジュースを買うことができるという学習内容。般化の視点としては「お手伝いができた」→「お礼が伝えられる」→「嬉しい」→「またお手伝いやってみよう」を考えました。

6 コミュニケーション

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
吹く練習シリーズ 	・吹く練習により呼気、吸気のコントロール力をつけることができます。	・口に物をくわえるのが苦手な子は、風車やお花紙で練習します。吹く力が弱い場合、お花紙だと少しの息で変化が見えるのでわかりやすいです。
i P a dでマカトンサインの練習 	・正しいマカトンサインを覚える。 ・できるマカトンサインを増やしたり、言葉とマカトンサインを一致させたりします。	・i P a dを使うことで意欲的に取り組むことができます。 ・i P a dを自分で操作することができます。 ・両手を使って教えることができます。
パン〇〇ください 	・教師とコミュニケーションを取りながらできる。	・児童生徒の好きな実物の写真を使用することで学習意欲を持たせることができる。
こんな時どんな気持ち？ 	・自分の気持ちに気づき、イメージします。	・実際に起きた時の対処に繋がります。
○×意思表示カード 	・することに対して、したい→○、したくない→×。欲しいものに対している→○、いらない→×を選んでもらいます。	・カードが見えやすい場所や手の届きやすい場所に提示し○を見せて「する」、×を見せて「ない」と聞きます。意思表示のきっかけとして活用しています。 ・色々な場所で活用できます。

SoundingBord



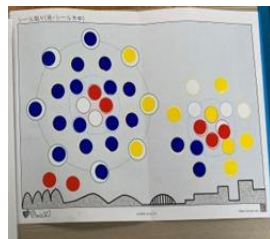
・より多くの人(指文字やマカトンサインがわからない人)に自分の意思が伝わるように、iPad を利用したコミュニケーション能力を高めます。

・児童生徒のコミュニケーション能力に合わせて、言って欲しい言葉や台詞を教師側で自由に作ることができます。

・文字や音声、写真、イラストを挿入することができます。

・無料アプリですが、なかなか使い勝手が良いです。

シール貼り



・指示理解、指示行動。

・花火を作る→「赤を貼ってください」の様な指示を聞いてその色を貼ります。完成図が綺麗なので楽しいです。シールを貼る枠があるので、枠を見ながら手先の動きが必要となります。

復活じゃんけん列車



・じゃんけん列車で負けて後ろに並んだ子どもでも前の子どもが次に勝った場合、復活して初めから参加できます。少人数でも楽しめる活動です。

・見る活動を少なくする(新たに参加する)ことができます。実際の場面では、前の子どもに「お願い勝って」と応援し、協力し合う様子も見られました。ほぼエンドレスで活動を続けることができます。

ヒントカード



・質問に反響言語で答える生徒に対して自分の気持ちを踏まえた上で、返答できることをねらっています。

・給食は苦手なもの我慢して食べたり、出したりする。嫌いな時には「減らしてください」と言えいいことがわかるように示しています。

・生活の中で必要な事柄に絞り活動内容ごとにカードの色を分けている。

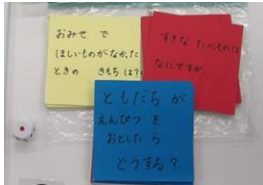
・いつでも使えるようにリングに通してまとめています。

・受け身で指示された通りに動くし、逆に指示がなければ動かない生徒に対して、ヒントカードを見て自ら動いて他者に発信できるようになってほしい。また、好きなことを自ら選んで楽しめるようになってほしい。

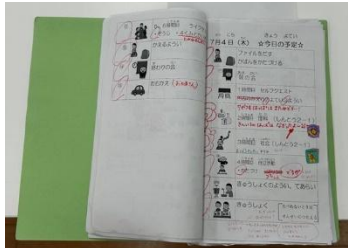
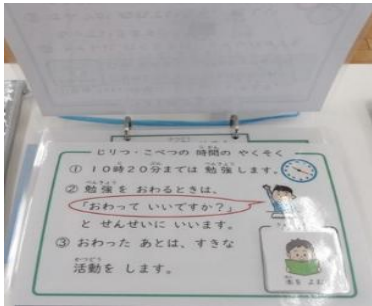
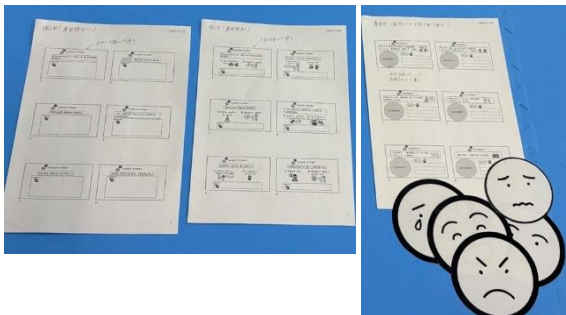
平仮名ボード 	・平仮名の読み方、文字を覚えるのに使用しています。	・「雨のあ」等声に出しながら、チップをはめていきます。操作しながら楽しく学習に向かうことができます。
どうぶつ絵あわせゲーム 	・「〇〇くん、△△のしっぽください」等、定型文を使用することで文で話す力や好ましい言葉の使い方を身につけます。	・簡単なゲームにすることで楽しんで意欲的に取り組むことができます。最初は手落ちのカードをオープンにし、慣れてくるとカードを隠す等、難易度にも変化をもたすことができます。 ・日常生活でも「〇〇さん、△△ください。」等と言うように伝えることで相手を意識し、適切な言葉遣いで伝える力がつくと考えます。
平仮名文字を使いこなすためのグッズ 3 種 	・平仮名習得済みで発語がない生徒が平仮名をコミュニケーション手段の一つとして使えるようになるための教材です。	①いろいろな種類の平仮名文字を準備し、興味関心を持続させます。 ②頻繁に使う言葉だが、まだ自分で平仮名表の文字を指したりするのが難しい言葉は「カード」にしておく。ラミネート加工の上から書いているのですぐに消せ、新しい言葉に変えることが可能です。 ③iPad は誘惑が多く、遊びになってしまいがちなので iPad アプリの画面を印刷したものでまずは練習します。ラミネートをしているので、丈夫だけでなく頻繁に使う言葉にはペンで印をつけヒントを与えることができます。すぐに消せるので新しい言葉も即対応できます。
コミュニケーションカード 	・ジェスチャーやサイン、発声では伝わらないことを正しく相手に伝えることができます。	・ジェスチャーやサインでは伝わらないことをカードにして伝えることができます。本人の好きなものや、よく表現するものを写真カードにしているためより具体的に伝えたいことを自分の中でイメージすることができます。

その他

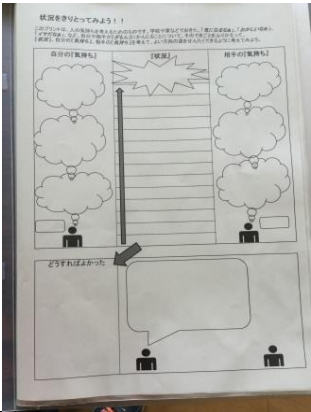
心理的な安定・人間関係の形成

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
自分で決める！ 	・切り換えが難しく、教室に入りにくい生徒に対して、見通しをもてるように、そして自分のやりたいことをして楽しむ。そして評価してもらい、自己肯定感を高め集団参加へと繋げていくことをねらっています。	・一日のスケジュールを確認できるページと、一つの授業の中で何に取り組むか、自分で選択し決定し実行。できたら花丸をもらい、達成感がもてるようにしています。 ・高等部では教科ごとに担当教員が変わるので、連携して取り組んでいます。
すごろく  	・自分の好きな物や苦手な物がわかる。 ・場に応じた行動を考えることができる。 ・自他の考えの相違に気づく。	・すごろくのマスは色分けしてその色の質問に答える形式にしているため、児童生徒の実態に合った質問を用意することができます。 ・友達と一緒に取り組むことで自分の考えと友達の考えの相違に気づくことができます。 ・場に応じた適切な行動がわかり、自分から行動を調整しようとします。 ・自他の気持ちの違いに気づくことで自分の気持ちを押し通すことが減ったり、友達に勝ちを譲ったりすることがみられます。

心理的な安定・コミュニケーション

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
1日の予定 	・登校日に1日の予定を確認し、その日の活動に見通しを持つ。1つの活動が終われば教師に○やコメントをもらうことを楽しみに苦手の活動にも気持ちを向けることができます。	・予定の見通しだけでなく、コミュニケーションツールとしても活用し、自分自身の気持ちや要望を予定表を介してコミュニケーションが図れます。 ・担任だけでなく、授業の担当者とも予定表を介してやりとりができるようになります。
自立活動の個別スケジュール 	・課題やスケジュールを理解し、見通しをもって取り組みます。 ・お楽しみの活動等で教師とのやりとりをします。	・小さなカードは紛失しても大丈夫のようにあらかじめたくさん作りました。 ・このスケジュールを使いながら準備や片付けの指導も行いました。自分から取り組んでくれる場面が増えました。 ・自己調整や自己決定の力を高められることでより豊かな生活を送れるのではないかと思います。
コミュニケーションブック 	・見通しを持てたり、自分の気持ちを伝えたりできます。	・生徒の課題に合わせてどんどん進化していきます。 ・これを活用することで生活の中で自発的にコミュニケーションをとり、伝える喜びが味わえることを目指しています。
こんなときどうする？どんなきもち？ 	・困ったときの伝え方や行動のしかたを知り、自分で対処する経験を積むことができます。 ・いくつかの気持ちを知り、自分や相手の気持ちを考えたり答えたりできます。	・ワークシート(個人用)は選択肢有りバージョンと無しバージョンがあり、児童生徒の実態によって使い分けできます。集団用は「自分はこう思うが相手はこう思っている」ことを考えたり認め合ったりできるようにしています。 ・イラストを選択したり、言葉で伝えたり、ワークシートに記入することで同じような場面や似たような場面で適切に対処する行動が見られました。

心理的な安定・人間関係の形成・コミュニケーション

名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
気になること 	・ 自己理解、他者理解。	・ 即時評価、振り返りのツールになります。客観的に自分を見つめることが可能です。
S S T (人との接し方、関わり方、色々な約束、ルール) 	・ 表情理解を通して自分の気持ち、人の気持ちに気付く。気持ちの安定を図り、色々な活動ができます。 ・ 状況に応じたコミュニケーションが図れます。	・ 個々の実態に応じて正しい行為等について具体的に示すことで、理解を促しやすくしています。少し操作できる部分を取り入れることで、より注目して聞き、意識できます。自立活動の時間以外においても、すぐ取り出し、振り返られるようにしています。
マッチングシート 	・ 本生徒の障害特性から視野による支援が有効と考えられます。	・ イラスト⇔言葉との双方向での学習が可能です。 ・ 常に全ての項目を使用するのではなく、状況等に応じて必要なものを選択して使用することができます。 ・ 学習上のマッチングはクリアしても、例えば「しんどい」とはどのような状態なのかをその場で確認して、本生徒が実感することで般化に向けて定着が可能なかを考えられます。

どうしていいこう？ 企画書を作って考える

きくこくく
企画書

〇月 〇日 企画者：A 中村先生

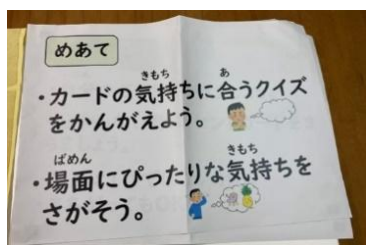
人と話すのが少しでも緊張せずにできるようにするために
「〇〇の会」をインタビューとアンケートで確かめよう。

活動（やること）	対応方法（どうするか）
・確かめる話？	→ 「やらあけ楽しいな人入話」 「数字好きな人入話」 「学校の1番の悪いお話を聞いてもらう話」 「自分のお話のりきって貰う人入話」
・調査は誰にする？ ・先生も参加？ ・全員にインタビューする？	→ 〇年生のみんな → 先生にも参加。先生と口話一話までは インタビューで聞けると思う。 中村の先生はアンケート調査する。
・いつする？	→ 2学期になったら、後日は大変そう、 気分がのる夏休みにする。
・準備は？	→ アンケート用紙、インタビューで聞く内容は 前立活動の時間考えてつくる。
・記録は？	→ 結果の集計表にチェックする。集計表をつくる。
・調べたらどうする？	→ 口話で聞けるアハハは少しから無理 → プリントにまとめる配布する？ → 配布時に話さなくてはいけなくていいので、 → 配布前 → 話さなくていいので、 → 配布後 → 話さなくていいので、
・インタビューのとき聞いたら	→ 一度聞きもどって先生と確認。 話したいときは助けを求める。 事前に準備したインタビュー用紙を見て聞く。
・上手くいかなかったら	→ やり直す。

・コミュニケーション
（言葉での会話）に課題
のある生徒に、どうや
ったら良いかを教師と相談
しながら「活動計画」を立て、
その中で自身の考え
の特徴や状況に応じた対
応を具体的に考えていく
ことをねらっています。

・企画書を協働して作成
することで活動の一連の
流れで何が起これるか
ということに見通しをも
つことができます。また、
生徒にとって不安である
「何か起こったらどうし
たら良いのかわからな
い」ということを話し合
う中で、一つ一つ具体的
に対処していくことで本
人の不安を解きほぐし、
「よし、やってみよう」
という勇気へと繋げてい
くことができます。企画
書はあくまでも【子ども
－企画書－教師】の三項
関係を築き会話への緊張
と不安を和らげ、同じも
のに向き合い記録を取り
ながら進めるためのツ
ールであり、重要なのは
提案と交渉を重ね、本人
が安心して活動に組み
組めるように具体策を一
緒に立てることです。

どんな気持ち？



・小学校自閉、情緒特別
支援学級で取り組みまし
た。
・色々な気持ちの理解、
自分の経験を気持ちのカ
ードを使いながら振り返
ることができることをね
らいました。

・イラストにダジャレを
いれたので、クスツと笑
える要素があります。
（特にマイナスの感情は
笑える要素があると気持
ちが外在化しやすいそう
です）
・自立活動（集団）で単元
として取り組み、自分の
気持ちを振り返る時や、
物語の中で主人公の気持
ちを考える時等、自分か
らイラストの中から探そ
うとする児童生徒がいま
した。ワークシートで、
①気持ちについて知る（気
持ちカード探し）②気持
ちクイズ③色々な気持ちワ
ークシート④クイズを作
ろう（気持ちぴったんこク
イズ）

心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握

予定表チェックシート



・係の仕事で決める予定表の変更を自分で気づいてできます。

・シールをもらうことを楽しみにし、積極的に取り組むことができました。

心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・コミュニケーション

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピールポイント等
トータス（10+）	・友達の対戦式のゲームを通して、注意を持続させ集中して活動に取り組めることを目指しつつ、移り変わるゲームの場面や対戦相手の状況を理解して心理的抵抗を軽減、応援等の相手に配慮した言葉遣いやコミュニケーションを行えるよう教材を設定し実施しました。また数学で身につけた力を活用することで「できた」という意欲やさらなる計算力の向上を図ることができます。	・制作時間はかかるがコストは二百円程度。 ・数字ごとに色を決め視覚的にも判別しやすいよう工夫。 ・足し算と神経衰弱を組み合わせたゲームのため難易度は高いが、その分ゲーム性は高く対象生徒が興味関心を持って取り組むことができている。 ・紙コップを重ねることで「10のまとまり」や獲得数を視覚的、動作的にも判断しやすい。 ・相手のターンにも、一緒に計算したりカップの位置を覚えたり、主体的にゲームに参加する機会があり、互いに「足したら〇〇だね」等やりとりが生まれています。さらにゲームを優位に進めるためには集中したり注意を持続させたりする必要があるため、生徒が集中している時間が長くなります。 ・コップを重ねる感覚が気持ちいい→片付けも楽しい！

心理的な安定・環境の把握・身体の動き

チップの袋詰め

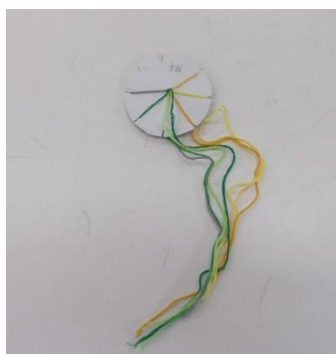


- ・手指の巧緻性や色の把握、弁別を通して色覚への認識能力を高めます。
- ・決められた色や数を繰り返しの手順で揃えることで心理的な安定を図ります。

- ・様々な特性に応じてねらいを定めることができます。手順を理解すると一人で取り組むことができます。繰り返すことで見通しが持ちやすいです。
- ・手指の巧緻性を高めることで課題や活動範囲を広げることができます。ルーティーンワークに見通しを持つことで学習の導入等で落ち着いて取り組むことができます。

心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・コミュニケーション・身体の動き

ミサンガ



- ・手指の巧緻性向上。
- ・周りの環境を見ながら集中力を継続させます。

- ・教材に取り組む時は、机を円形の配置にして行っています。周りを見ながら作業を行うことで細かい作業が苦手な生徒、集中力が短い生徒、コミュニケーションをとるのが苦手な生徒が、友達の様子を見ながらどのように工夫して制作しているかを見たり聞いたりでき、周りが集中して取り組んでいる中で自分も頑張ろうとする意欲を引き出す等、それぞれが苦手なことを同じ教材を活用することで取り組むことができます。
- ・苦手なことにも根気強く取り組み、集中力を高め、自分なりの工夫をしながらできることを増やしていくことを期待しています。

人間関係の形成・環境の把握

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
リモコンコンセント (マルチスイッチ化)  	・肢体不自由の児童生徒が、家電機器に近づかなくても家電の電源のオン、オフを行うことができる。また、児童生徒の実態に応じたスイッチを接続することで活動の幅が広がります。	・リモコンリレーという直接的に家電、機器と接続し、ビックスイッチを活用することができる製品は多くあるが、遠隔で家電製品のオン、オフを行うリモコンコンセントで様々なスイッチを活用できる製品があまり見当たらなかった。また、様々な活動の中で、肢体不自由の生徒が家電製品を扱う際に、コンセントとの距離や安全面、姿勢の問題等、近づいて電源を操作することが困難な状況があるということを知り市販品のリモコンコンセントを改良し、様々なスイッチを接続し使用できるようにした。知的障害のある児童生徒についても、複数あるスイッチの中から選択することが難しい場合でも、シンプルな構造のスイッチに置換し、操作することができると考えました。

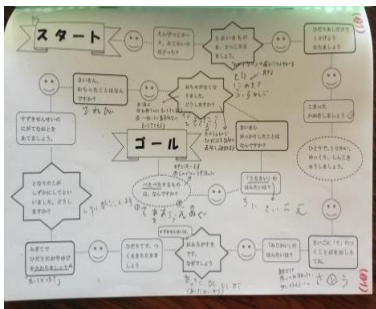
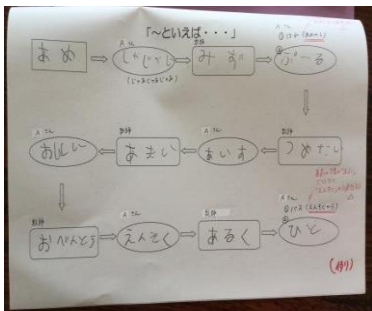
人間関係の形成・環境の把握・身体の動き

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
じゃんけんルーレット 	・「ルーレットを回すために必要な手指の動作の獲得」「じゃんけんの概念の形成」「色やじゃんけんの手の形の判別」等基礎的な概念の形成も図る。他者とのかわりを広げ、集団での遊びに参加できることを目指します。	・制作コストがほぼ0円。持ち運びが手ごろなサイズのため、外での活動にも持っていけます。キャップ下部分のストロー部分の長さを調節することで回転強度を調整できます。

人間関係の形成・身体の動き

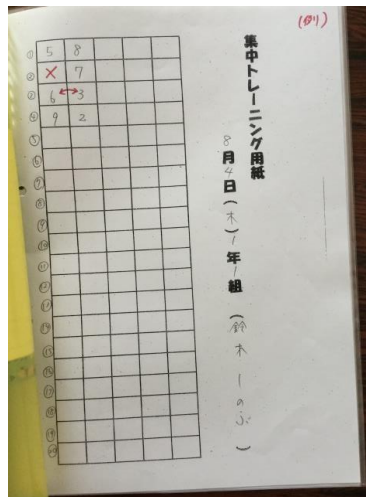
名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
ヤカーリング 	・ 的をねらって友達とゲームを楽しむことや、的に近づくための力加減を考えることをねらっています。	・ 軽いので少しの力で動かすことができ、誰でも楽しむことができます。傾斜をつけると車いすの児童生徒も扱うことができます。

人間関係の形成・コミュニケーション

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
ソーシャルスキルトレーニング (SST) すごろく 	・ すごろくゲームを通じて、SSTの学習を行います。	・ 子どもは楽しいゲームの中で自由に意思を伝えながら進めていきます。子どもの発達段階や特徴に合わせ、教師が課題を考えてその子独自の問題を考えることができます。
「～と言えば」 	・ 相手の話を聞かずに一方的に話すことが多い子どもや、言葉を知っているがそこからイメージが拡がり難い子ども達が、相手が伝えた言葉を聞いて、それに合った言葉をイメージし伝える力を高めることができます。	・ 当初は最初に出てきた言葉のイメージや自分が言いたいことに引きずられて、直前に相手が話した言葉と無関係な言葉を伝えることや、言葉が思いつかずに怒ってしまうことがありました。学習を進める中で、相手の言葉に合った言葉が考えられる、「わからないからヒントちょうだい」等伝えられるようになってきました。

1 分間トレーニング

(数字・文字・記号等)



・ 集中力の継続。友達や教師を意識し、合わせる。相手が聞き取りやすい声の大きさやスピード等を調整する力を高める。相手が話したことを正しく聞き取り、適切に処理して応える力を高めることができます。

・ 友達や教師とペアで行います。活動開始当初、読み手は相手を見ずに自分のペースで読み進んでしまうことがあったり、聞き手は読み手が読み始めても知らないふりをしたり、相手の読むスピードに付いていけずに黙って困ったり怒り出すことがありました。活動開始前にそれぞれ目標を決めて、「相手が書くのを見ながら読む」「相手が分かりやすいようにゆっくり読む」「わからない時はもう一回いってください」と伝える等それぞれが気を付けることを意識して読むことで改善していきました。

コミュニケーションブック



・ 自発的に要求や、教師とやりとりをねらっています。

・ 一つのイラストカード（単語）を渡すだけでなく、二つ三つを組み合わせて、二語文、三語文で要求する学習にも活用できます。

きっかけ言葉



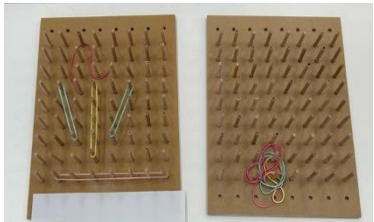
・ 自信をつけて自分からの発言や行動を増やすことをねらっています。

・ 日常生活で怒りそうな場面を設定します。「話しかける言葉」と「話しかけられる言葉」を考えてからロールプレイをします。ロールプレイをすることで良い例や、悪い例等が視覚化することができます。他者からの評価や意見をもらうことで自信に繋げることができます。

・ 場面を変更したり回数を重ねたりして人とのコミュニケーション力に繋がりたいと思っています。

環境の把握・身体の動き

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
しぼるん棒 1 号・2 号 	・しぼるん棒 1 号により「絞る」動作を身につけるとともに、手首や腕の回内・回外の可動域を拡げる。さらに、しぼるん棒 2 号により「トルク（棒状の物体をねじる方向の力）をかける続けられる筋力の向上を目指します。また動作と回転の方向や色、時間を示す言葉等を関連付けながら指導することで基礎的な概念の形成も図ることができる。	・制作コストが安い！百均で手に入るもので作ることができます。 1 号：木製ねじ、ナット、強力接着剤、棒、ドリル 2 号：竹製水鉄砲、事故防止クッション材、強力接着剤 ・対象の生徒は手が汚れることに対する嫌悪感を持っているため、手触りの良い自然素材を活用。 ・トルクするためにかかる負荷や力のかけ具合をクッション材の弾性や印の位置により調節できます。
魚釣りパズルゲーム 	・イラストのマッチングだけでなく、各パズルのピースを釣って手にするという二重の楽しさを味わうことができます。	・パズルのピースはマグネットシートにカラーイラストを貼ったもの、釣り竿は割り箸と糸の先に丸磁石を付けたもの、土台はホワイトボードに白黒のイラストを貼ったもの。「パズルが好き」、「釣りが好き」の両方のニーズに応えた教材です。イラストを好きなものにすることでよりやりがいを感じることができます。 - 釣り竿を使うことで手首の動きや、パズルのピースをくっつけるために手先を見て活動することができます。白黒にカラーのピースをはめていくので、難しいかもしれませんが、わかったところを手がかりに完成させていくことができます。 ・釣り竿を使わなければならないので、二重の活動があるがその分達成感を味わうことができます。
ペグ差し 	・手指の操作性の向上や見る、見比べる力の向上をねらってます。	・アイスクャンディー容器や歯ブラシ立てを使用。歯ブラシ立てのペグに使っているのは、食用保存に袋を止めるものです。

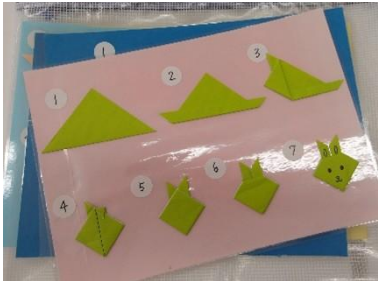
輪通し 	・手指の操作性の向上や見る、見比べる力の向上をねらってます。	・ペーパーフォルダーとアヒルの輸入の輪を小さくなるにつれ内径が小さくなり、通す難易度が変わります。ヘアゴムも輪として使用し、柔らかいので持ち方を気をつけないと上手く輪を入れることができません。
文字を用いた学習 	・「見る力」①文字単語と絵を結びつける。②単語を構成する文字を選択し順番に並べる等、「単語の視覚的な弁別力」を学習すると同時に、音韻意識や音韻抽出等の「聞く力」を学習しながら、見て聞きながら「覚える力」に繋げていきます。	・各パーツの裏にマジックテープが付いているため、複数の情報量からパーツを選択し、それを指で取り指定の場所に貼ってもずれ落ちず、付けたり外したりしながら様々な単語を繰り返し学ぶことができます。また、平仮名の書写はラミネートをしているため、ホワイトマーカーで反復練習ができます。
バスケットゴール 	・高さを調整することができるので、一人一人に合わせることができる。 ・上肢の動きが難しい生徒でも、自分でボールを入れる体験をすることができます。	・バックボードをつけて高さも調節できるようにしました。また、引っ張る力によってマグネットの強度を調整することができます。 ・運動会でも使用しました。
手の操作グッズいろいろ 	・手指の操作性、目と手の協応性を高めることをねらっています。	・フェルトの蛇は難易度が調整できます。色等で教師と野やりとりの場面も設定できます。 ・児童生徒の好きなキャラクターで、モチベーションをもてるようにしています。 ・クリップの課題は力の加減を調整するねらいもあります。
ジオボード 	・簡単に準備することができ、見る力と手指の巧緻性を伸ばすことが期待できる課題です。	・市販のパンチングボードにペグを刺したボードを2カ所準備し、一方に見本の形(三角形、四角形等)をカラーゴムで表した物を掲示し、児童生徒が同じ形を再現する課題です。

指先のトレーニングの課題 	・親指と人差し指の力を付けます。 ・一定時間集中することを目指します。	・わかりやすく取り組みやすいです。
ころころしゅーと 	・ゴールをねらって手の向きや、距離を考えて強さを調整することをねらっています。	・クラス全員でできる簡単なゲームです。 ・得点が僅差の結果になるのでドキドキしながら友達がしている様子を見えています。
お弁当づくり 	・目と手の協応動作や手指の細かい操作をねらっています。	・親しみのある「食べ物」を題材に選んでいます。結構小さいので細かな手指の動きが要求されます。 ・将来事業所にいった際に、袋詰め作業等で見本通りにやる、指でつまんで入れる等を期待しています。
むいむい(いもむし)つり 	・空間認知（左右、奥行き等） ・手指の巧緻性の向上。 ・方略の思考。	・木のおもちゃの一番の魅力は癒やしの効果があるのではないのでしょうか。冷たくもなく熱くもなくほどよい温度と適度な柔らかさ、香り、音、そんな癒やし効果抜群の木のおもちゃにわくわくする、まずそれがポイントです。引っ付き棒をそっと入れてみると磁石の力でいもむしがぴったりと棒にくっつきます。指で取り出すと指先を使う練習にもなります。いもむしでいもむしをとっても良いですし、やり方は様々です。取り出したいもむしは他のいもむしと繋げることもできるので長く連結して遊ぶのもおすすめです。付けたり外したりするのも両手を扱う練習にもなります。 ・連絡袋のチャック紐をつまむ→引っ張る。立体視、物の距離感を掴み取りたい物をスムーズにとれる。給食で食器等を持ったり操作したりすることに繋がります。

環境の把握・コミュニケーション

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
マッチング・文字学習・マトリクス・ 数等の学習のための汎用カード 	・位置や空間把握力をつけることができます。 ・言葉の理解、発声、発音、言葉の表出を促すことができます。	・カードに厚みを持たせていることで操作しやすいです。 ・透明のケースを使用することで、マッチングからことばの作成へと段階的に取り組めるようになっています。

身体の動き・コミュニケーション

名 称 及 び 写 真	ねらい	使い方・アピール ポイント等
大好きな動物を折ろう！ 	・注意喚起ができる、助けを求められる、自分で最後まで課題を終わらせることができる、をねらっています。	・生徒の好きな折り紙を題材にすることで大変積極的に取り組む様子が見られました。手先の動きの練習になるとともに、本生徒の課題である「先生」と呼ぶ、「手伝って」と伝える場面を作り出すことができました。行程が一つ終わると指示待ちの状態だったのが、課題を最後まで終わらせ、「できました」と伝えられるようになりました。 ・普段の生活の中でも「手伝って」と伝える姿が見られました。

番外編

段ボール収納



材料：段ボール、ガムテープまたは養生テープ

強度や汚れ予防に周りに透明のテープ等でコーティング。

・収納としても使えることはもちろん、個人用に用意し課題を入れて置くことで児童生徒が自主的に自立活動に取り組むことができます。